

【発明の名称】種芋植付機、及びこれに設置される種箱

【公開】特開2002-14 平成14年1月8日(2002.1.8)

【優先】

【出願人】鋤柄農機株式会社

【発明者】鋤柄 国佐、佐藤 光男、土屋 一義

【国際特許分類第7版】A01C 9/02, A01B 49/06

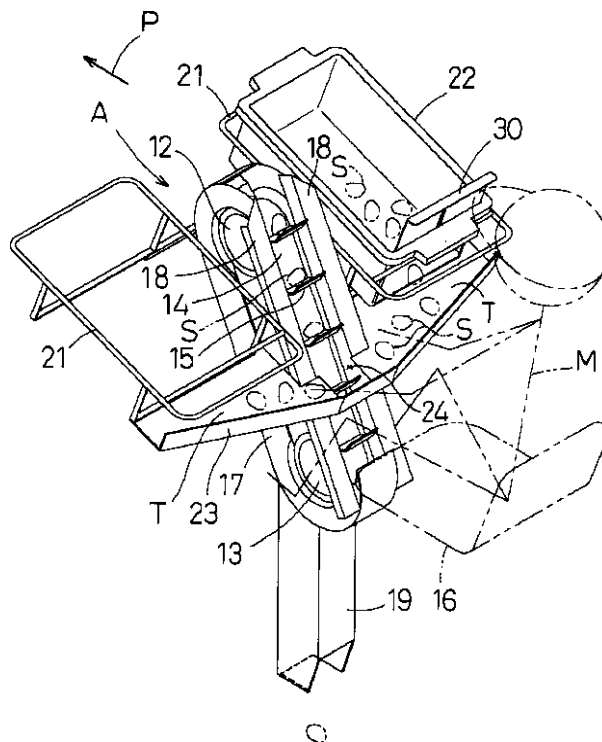
【出願】特願2000-185568 平成12年6月21日(2000.6.21)

審査請求 未請求 請求項の数 6 (全 10 頁)

(57)【要約】

【課題】縦送り式の種芋植付機において、その搬送ベルトに対する種芋の連続供給作業を楽にすることである。

【解決手段】縦送り式の種芋植付機であって、機体8における作業員Mの位置する部分の手前側であって、しかも搬送ベルト14の少なくとも一方の側方に、多数の種芋Sが収容可能であって、しかも側方の前記搬送ベルト14上に種芋Sを落下させられる種芋供給テーブルTを設置する。



【発明の名称】移植機における苗取り爪構造

【公開】特開2002-15 平成14年1月8日(2002.1.8)

【優先】

【出願人】ヤンマー農機株式会社

【発明者】伊藤 尚勝

【国際特許分類第7版】A01C 11/02, 301, 302, 386

【出願】特願2000-186884 平成12年6月21日(2000.6.21)

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 5 頁)

(57)【要約】

【課題】移植機における苗取り爪構造を提供する。

【解決手段】棒状の爪本体2とその周面を圍繞した苗押し出し具1とよりなる移植機の苗取り爪構造において、苗押し出し具1のポット苗pへの当接面の外形を略長方形とし、しかも、長径を少なくともポット苗pの上端面の略幅員tの大きさかそれよりやや短めの大きさに形成したことを特徴とする移植機における苗取り爪構造とした。

